

男女共同参画推進活動事業委託報告



八潮市の男女共同参画を推進するため、市内で活動する団体から講演会やイベントなどの提案を受けて、事業の実施を委託します。平成28年度は「つながるネットワーク八潮」と「オハナウイ」の2団体に、事業を実施していただきました。

オハナウイ

八潮をもっと楽しく♪モノづくり体験「はっぴ〜はんどⅡ」 平成28年12月3日(土) 八潮メセナアネックスにて開催

起業したくても環境が整っていない。経済的に少し余裕があれば一歩踏み出すことができる。そんな声を形にするため昨年度に引き続き、「はっぴ〜はんど」を開催しました。市内外で活躍する起業ママや高齢者に出展いただき、手工芸体験や赤ちゃんのハイハイレースなどのイベントや、未就学児を持つママのための在宅ワークに関する説明会などを行いました。



イベントの目玉企画
「おひるねアート」の
撮影風景



男女共同参画推進活動事業を受託して…

私たち「オハナウイ」は、平成27年度、28年度と男女共同参画委託事業を受託させていただきました。

埼玉県男女共同参画推進センター（WithYouさいたま）で開かれた研修会で出会った市役所の方の「八潮のママたちのために何か新しいことをやってみませんか？」のお誘いで始まった「オハナウイ」ですが、活動3年目に入る今年は「ワークシェア☆企業とママのお仕事マッチング」を始める予定です。

★乳幼児や、介護が必要な家族を抱えていて外に働きに出られないママたちを応援したい！

★例え少額でも、自分で働いてお金を得ることでHAPPYな気持ちになれるようお手伝いしたい！

企業から仕事の依頼を受け、登録されているママに業務を依頼するコーディネーター役をオハナウイが担います。将来は、会社組織にして八潮のママのワーク・ライフ・バランスに貢献していきたいと思っています。

つながるネットワーク八潮

基調講演とワークショップ「子育て・孫育て・他孫育て講座」 平成28年11月23日(水・祝日) やしお生涯学習館にて開催

講師のNPO法人孫育て・ニッポン理事長の棒田明子さんから「今どきの子育て事情」全般について、ゲーム形式で分かりやすく講義いただきました。参加・体験型のワークショップでは、母親・父親と祖父母の役割の違いについて事例を交え多世代で情報交換ができ、地域のシニア世代が連携して子育てを担うことで、薄れがちな地域との関係を、子どもを通じて構築することができ、学ぶことができました。



平成29年度 委託団体を募集！

◇応募資格	八潮市に活動の主体を置く3人以上の団体
◇対象経費	講師料、会場使用料、チラシ作成代など
◇委託料	1団体5万円（2団体まで）
◇申込み	7月20日(木)までに、所定の申請用紙（市ホームページから入手）を人権・男女共同参画課窓口へ

※詳細は市ホームページをご覧ください。
※書類選考のうえ委託団体を決定します。

地域で豊かに！グループ名簿に登録しましょう。

地域活動に積極的に参加していただくことを目的に、グループ名簿を作成し、市ホームページ等で紹介しています。
平成29年度版の作成にあたり、新規登録希望団体を募集します。

◇申込み	7月10日(月)までに、所定の用紙（市ホームページから入手）を、窓口、郵送、ファックスまたは電子メールで人権・男女共同参画課へ
◇登録の要件	・市内に活動の拠点があり、自主活動を行っていること。 ・男女共同参画の趣旨に賛同する団体であること。 ・営利目的や政治、宗教の組織に属していない団体であること。

※詳細は市ホームページをご覧ください。



女性の活躍って？

※「女性活躍推進法」（「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」平成27年法律第64号）では、「自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性はその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍すること」を「女性の職業生活における活躍」とであると定義しています。

チェックシート

家事・育児の夫婦の分担を「見える化」してみましょう。
我が家にとっての大切なものが見えるかもしれません。

女性が輝く社会であるために！ いま働き方を見直す時代が始まっています。

高度成長期、男性は日本経済の担い手として、終身雇用、年功序列という枠組みの中でモータリティーに働き、妻は専業主婦として家事、育児、介護を含め家のことを一手に引き受ける家庭が「標準家庭」とされました。その中で「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識が強められてきたようです。

近年、時代は変わり、経済構造の変化とともに共働き世帯が一般化していますが、女性の就業形態はパートやアルバイトなどの非正規雇用が高くなっていることから「女性がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍する」には、課題が山積していると言っていいでしょう。

事業者には、労働環境の改善と育児・介護等の休暇制度の整備を。パートナーには「男は仕事、女は家事・育児」といった固定的役割分担意識の改善を進めて行きましょう。

女性が働きやすい環境は、男性の幸せにつながっています。